平成２９年度　学校経営要綱

１ 本校経営の基盤

(1) 公教育としての学校

○ 日本国憲法、教育基本法をはじめとする関係法規、県・市の教育施策、教育課程の基本である学習指導要領に即して、公教育を行う。

(2) 現代社会の要請に応える学校

○ 生涯学習の基盤となる自ら学ぶ意欲と学び方を身に付けた、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人間の育成を行う

(3) 保護者や地域の要請に応えた開かれた学校

○ 地域社会の教育力を活用しながら学力の向上や社会性・個性の伸長を願う保護者や地域に応える教育を行う。

２　経営理念

学校は、　○生徒にとって　「**通いたい学校**」
　　○保護者にとって　「**通わせたい学校**」
　　○地域にとって　「**支えたい学校**」
　　○教職員にとって　「働きがいのある学校」　を目指す。

３　学校の教育目標

主体的に学び　（知）
心豊かで勤労を大切にする　（徳）
心身ともに健康な生徒　（体）

(1) めざす生徒像

① 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を身に付けた生徒。
② 自ら課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく問題を解決する生徒。
③ 基本的な生活習慣を身に付け、規律正しい生活をおくることができる生徒。
④ 素直で思いやりのある生徒。
⑤ 正義感や公正さを重んじ行動する生徒。
⑥ 勤労の尊さを知り、率先して働く生徒。
⑦ 心身の健康の大切さを自覚し、健康で安全な生活を送ることができる生徒。

(2) めざす学校像

① 生徒にとって楽しく居心地がよく、充実感や自己の存在感が実感できる学校。
② 生徒一人ひとりの個性や能力が発揮できる学校。
③ 生徒と教職員の心が融和する学校。
④ 教育活動が活発に展開され、活気に満ちあふれた学校。
⑤ 花と緑に囲まれ潤いのある学校。
⑥ 保護者や地域との連携が図られ、保護者や地域の方々が進んで教育活動に参加・協力できる信頼される、開かれた学校。

(3) めざす教師像

① 教育愛に燃え、常に生徒とともに居ることを喜び、生徒の信頼に応えられる教師。
② 教師としての使命感を持ち、常に研鑽し指導力の向上に努める教師。
③ 生徒一人ひとりがかけがえのない存在であるという認識に立ち、温かさを持って生徒を育てる教師。
④ 教育公務員としての自覚を持ち、社会人としても品位と人間味あふれた教師。

⑤ 率先垂範、師弟同行に徹する教師。
⑥ 授業で勝負する教師。

(4) めざす家庭・地域像
① 親子がコミュニケーションあふれる家庭（親子間でのあいさつ等）
② 社会のマナーや基本的な生活習慣を親が範として示す家庭
③ 学校と協力して子育てを行う家庭
④ 公衆道徳や規範を教える地域
⑤ 生徒の成長や安全を見守る地域
⑥ 学校を支える地域

４　指導の重点（具体的な取組）

(1) 学習指導の充実（確かな学力）
① 本校生徒の学力の状況を全職員が把握し、「わかる授業」「参加する授業」の充実
（「わかる授業 Support Guide」を活用した授業改善）
② 生徒主体の学び合い高め合う授業作りの推進（ペア学習やグループ学習等）
③ 特別活動の充実（学級活動：話し合い活動）
④ 道徳教育・人権教育の充実（いじめ防止の取組）　**→　道徳の教科化への取組**
⑤ 少人数指導・個別指導の充実（加配教員等の活用）
⑥ **学力向上月間(5月･11月･2月)を設定し、基礎学力の定着を図る（朝ドリル（15分)等の実施）**
⑦ 補習指導の充実
・**サマースクール（夏休み）などの長期休業中の補習活動の改善・充実**
・定期テスト前補習等**の充実　→　※　日々の補習活動の推進**
⑧ 長期休業中における、各教科で課題を作成し学習の継続を意識した取組の充実
⑨ 家庭学習の充実（保護者との連携）
・ 授業と連動した「宿題」の**充実**（復習・予習）
・ **生徒主体の家庭学習時間の管理**
⑩ 読書の充実（未読者をなくす取組、読書の質の向上、読み聞かせボランティアの活用）

(2) 基本的生活習慣及び規範意識を育む教育の充実
① あいさつ、時間の遵守、早寝・早起き・朝ご飯、基本的な生活マナーなど基本的生活習慣の確立（「早寝・早起き・朝ご飯・徒歩登校」の奨励：家庭との連携）
② 不登校生徒への指導・支援、ケアー、対応の充実
・ 遅刻、途中登校、無断早退・欠席は、連絡（電話、家庭訪問等）を確実に実施
・ 道徳教育の充実（道徳の時間、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実）
・ 相談活動の充実（生徒指導と教育相談）
③　聞く態度の育成（集会・授業）

(3) 夢や希望を育む教育の充実
① 生徒に夢や希望、あこがれを持たせる教育活動の実践（異文化交流等）
② 進路指導・キャリア教育の充実（現在の学習の意義を理解させ、学習意欲の向上、地域人材の活用）
③ 職場体験学習（２学年・３日間）の充実（地域と連携）
④ 福祉体験学習（１学年・２日間）の充実（地域と連携）

(4) 特別支援教育の充実
① 支援を要する生徒の全職員での共通理解、共通指導
② 特別支援学級との交流の充実
③ 通級教室の全職員の共通理解、共通指導

(5) 生徒会･部活動等の自主活動の充実、学校行事の充実
① **生徒会活動と学級活動の連動した取組**。

② 部活動の活性化（学年の枠を超えた活動）及び適正化　（ノー部活動デー、休日）
③ ねらいを明確にし、生徒が主体的に活動する学校行事の充実

(6) 体力向上及び健康安全等にかかる教育の充実
① 学校全体で体力向上の取組の推進（教科及び部活動等）
② 食育の充実(望ましい食生活習慣の育成)
③ 健康安全教育の充実（教科や特活で取組）
・安全教室や薬物乱用防止教育の実施
・避難訓練等の実施

(7) 母校や地域への愛着心を育む教育の充実
① 自尊感情や自己肯定感を育む教育の推進
② 地域行事（ハーレー、大綱引、旧正月）を活用した教育の推進（地域愛の育成）

6　経営の重点

(1) 目標管理型評価システムを活かした学校経営の充実
① 教職員が学校課題を共有し、課題解決するための学校経営への参画

(2) 学年・学級経営の充実（認め合い励まし合う支持的風土の学級づくりの推進）
① Ｑ－Ｕの活用した学級づくりの充実
② 学級力向上プロジェクトの充実　　※　集団活動の中で個を育てる指導

(3) 校内外研修等の充実
① 教職員一人ひとりが学校課題を共有し、主体的に参加する研修の充実
② 一人一授業一参観（全職員公開授業）の実践　→　更なる充実（レベルアップ）
③ 教職員一人ひとりの資質の向上

(4) 学校環境の整備と充実
① 校内の掲示物等の充実
② 朝の清掃活動の推進（生徒会・部活動等）
③ 日々の清掃活動の充実　（生徒会等を活用した取組）
④ ＰＴＡや地域と協力した学校環境作りの推進（学年親子ＰＴＡ作業）　→地域人材の活用

(5) 小中連携の充実
① ３校（糸中、糸小、糸南小）合同の研修会の実施（年３回）
② ３校校長会（毎月）、教頭, 教務及び学対担当等の主任会（適宜）の実施
③ ３校での共通取組事項の実践

(6) 家庭や地域、関係機関・団体との連携（地域ともにある学校づくり）
① 学校運営協議会の充実（コミュニティースクール）
② ＰＴＡ活動の活性化
③ 保護者との教育相談の充実
④ 学校支援地域本部事業の有効活用
⑤ 生徒への細やかな支援のための関係機関・団体等との連携（行動連携）
⑥ 家庭・地域への積極的な情報発信（メール・ホームページ等）

(7) 校務改善に向けた取組の推進
① ねらいを明確にした教育活動の推進　→　学校行事等の精選（スクラップ＆ビルト）
② 業務の効率化を図る組織的な取組の推進
③ ノー部活動デー、ノー残業デーの推進